

かかしコンクール

京王井の頭線・駒場東大前駅から歩いて3分のところにある駒場野公園では、毎年10月の「こまばのまつり」のときに「かかしコンクール」が行われます。いったいどんなイベントなのか、取材してきました！

エントリーすれば誰でも参加することができるこのコンクールでは、毎年30〜40体の力作が揃います。その中から優秀な作品には賞が贈られます。

具体的には近隣の幼稚園、小・中学校、高校、大学や福祉施設、大使館が出品しています。もちろん個人での出品もあります。



これぞ東京都農業協同組合中央会長賞！



ズラリ32体のかかしたち

これはコンクールですので、参加者はいくつかの賞を目標にしています。東京都農業協同組合中央会長賞やドイツ連邦共和国大使賞など、20以上の賞が設けられています。また審査員以外にも一般人の人気投票による賞もあります。

実際にかかしコンクールへ行ってきました

第29回を迎えた2010年は約800人が人気投票に参加し、

かかしコンクール実行委員長の松本國男さんにインタビュー

駒場在住70年、現かかしコンクール実行委員長の松本國男さんに取材してきました。

コンクール前になると、小学生や高校生にかかしの作り方を指導なさる松本さん。かかしを作り始めて、コンクールに出品するまでの流れをお聞きしました。

◎ かかしの作り方の手順を教えてください。

▲まず、配布される十字型の支柱に布や新聞紙を巻きつけます。このコンクールではエコ材料を使っているかどうかも審査基準なので、材料もよく考えて選びます。次にかかしの頭部を作ります。これはバケツをのせるだけでも、十分形になりますね。頭部ができたらあとは他の部分に装飾を重ねていきます。最後の仕上げに耐水スプレーをかけると雨でも安心です。



インタビューを終えて「ほっと」なツーショット

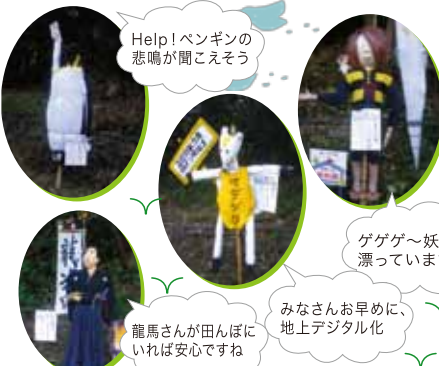
◎ かかしの制作にはどれくらい時間がかかるのですか？

▲ かかしの制作には通常、3〜4日かかりますね。小学校では7日くらいです。夏休みから始めて2カ月かけるところもあるんですよ。

◎ かかしを作るのにアドバイスをいただけますか。

▲ かかしを作るのは見た目よりも難しいですから、構造の複雑なキャラクターや高度な技術が必要な形のものは大変です。

32体のかかしが出品されるなど大いに盛り上がりました！私はコンクール前日の審査会にお邪魔しましたが、そのクオリティの高さにはびっくりしました！近くで見ると本当によくできているのがわかります。作品はひとつひとつ個性豊かで、思わず吹き出してしまうものからメッセーじ性に心を打たれてしまうものまでありました。



Help! ペンギンの悲鳴が聞こえそう

ゲゲゲ〜妖怪が漂っています！?

みなさんお早めに、地上デジタル化

龍馬さんが田んぼにいれば安心ですね

かかしを作るときには誰が見ても一目でわかるような、かんたんなテーマにするよう心がけるといいですね。

◎ なんだか私もかかしコンクールに参加したくなってきました！最後にかかし作りの精神を一言でお願いします。

▲ Simple is the best. 田んぼをバツクにすることを忘れずに、かんたんなテーマで質素なものが一番！元祖の「へのへのもへじ」に笠をかぶり、一本足で立っている姿を忘れてはいけません。

みなさん、かかしコンクールに興味を持っていただけましたか？

なんだか参加したくなってきた、そのあなた！ぜひ来年から参加してみてください！！参加者大歓迎です☆詳しくはコンクール前の目黒区報で！最後にインタビューを受けてくださった松本さん、そして取材に協力してくださった皆様、ありがとうございます。



取材・文・写真／香川えり子



立派な作品ばかりで審査も大変そうです

今年注目された映画のキャラクターや歴史人物に加え、活躍したサッカー選手や地デジ促進キャンペーンキャラクターなど話題性のあるものが目立ちました。他には地球温暖化を訴えるものや元祖のへのへのもへじのものもありました。

かかしにはひとつひとつ評価がつけられます。審査員7名が作品を見ながら、出品者の書いたPRポイントも参考にして点をつけていきます。主な審査基準としては

- ユーモア性
- トレンディ性
- エコ材料を使っているか？

があります。

取材を終えて

今回取材を終えて、すっかりかかしコンクールの魅力に惹きこまれていた自分に気づきました。駒場小学校卒業生である私は、実は5年生の時にコンクールに参加しています。しかし、その時には何となく実感が湧かずにいました。ただクラスの一員として参加しているだけでした。でも、いま思うととても貴重な体験だったのだと感じます。中学生になると友達とかかし作りをする時間、というのなかなか得られません。また「田んぼや」かかしにふれる機会自体が少なくなってきた中で自分の住む地域に貴重な田んぼがあり、そこでかかしコンクールという素晴らしいイベントが行われていることを誇りに思います。

これからも目黒のいろいろな顔を発見できたらいいな、と思います☆